
開志創造大学「将来計画および次期中期計画」

2019年7月23日制定

2026年2月27日改定

開志創造大学（2026年4月開志創造大学に名称変更）
2019年度～2028年度 将来計画

開志創造大学の将来像と6つの長期基本方針

【10年後の開志創造大学像】

「イノベーションスクールNo.1」

- 経営系専門職大学から学部～修士～博士課程を有する日本有数のアントレプレナー養成のプロフェッショナルスクールとして国際的な評価を得ている。
- 起業/事業創造のための実践的な教育・研究環境と起業支援・インキュベーションの仕組みの整備により、多数の起業/事業創造の実績が蓄積され、新潟を起点にグローバルなネットワークが形成されている。
- 日本全国・海外から起業/事業創造意欲が旺盛で優秀な人材が集い、多数の起業家、経営者の輩出を通じて、地域とグローバル経済の発展に貢献している。

【KPI】

- 起業/事業創造数

【長期基本方針】

I. 独自の教育方法論と教育の質保証の確立

- I-1. アントレプレナー育成・能力開発と時代の変化に対応した教育プログラムの構築
- I-2. 教育の内部質保証を通じた起業/事業創造、教育成果の向上

II. コア研究領域における国際レベルの研究の推進

- II-1. コア研究領域における教員の研究業績の蓄積
- II-2. 教員の物理的・時間的研究環境の確保と支援体制の充実

III. 地域企業・大学と連携した実践的教育・研究と貢献

- III-1. 新潟地域活性化研究所を中核とした地域企業・大学との連携
- III-2. 地域企業に対する課題解決提案、経営支援の推進
- III-3. 地域企業や住民に対する教育機会や学びの場の提供

IV. 国際交流の対象地域拡大と相互連携深化

- IV-1. 交流協定校の拡大による優秀な留学生の獲得
- IV-2. 交流協定校を中心とした取り組み内容の拡充
- IV-3. 修了生ネットワークなどを活用した国際貢献の推進

V. 学生本位の学修環境、キャリア支援体制の整備

- V-1. 起業/事業創造のための実践的な学習機会・環境の提供
- V-2. 起業・インキュベーション支援環境と体制の整備
- V-3. 修了後のキャリア形成に向けた支援の強化
- V-4. 県外学生や留学生を対象とした生活・学修環境の提供

VI. 経営系大学院大学としての進化とポジション確立

- VI-1. 経営系大学院大学として学部～大学院(修士・博士課程)までのフルライン教育体制の構築
- VI-2. アントレプレナー養成に向けた効果的な教育・研究体制整備
- VI-3. 優秀な学生の確保と安定的な財務基盤確立

「開志創造大学の10年後の将来像」と「6領域の目指す姿」

開志創造大学の10年後の将来像

「イノベーションスクールNo.1」

- 経営系専門職大学～大学院(修士・博士課程)を有する日本有数のアントレプレナー養成のプロフェッショナルスクールとして国際的な評価を得ている。
- 日本全国・海外から起業/事業創造意欲が旺盛で優秀な人材が集い、多数の起業家、経営者の輩出を通じて、地域とグローバル経済の発展に貢献している。
- 起業/事業創造のための実践的な教育・研究環境と起業支援・インキュベーションの仕組みの整備により、起業/事業創造の実績が蓄積され、新潟を起点にグローバルなネットワークが形成されている。

長期基本目標(定量・定性)：起業/事業創造数

領域	目指す姿(達成イメージ)	領域	目指す姿(達成イメージ)
教育・FD	• 建学の精神と理念に基づく人材育成・能力開発と時代の変化に対応した教育プログラムが提供されている。 • アントレプレナー養成、起業/事業創造のための本学独自の科学的な教育方法論が確立している。 • 起業/事業創造に向けた教育の内部質保証が確立し、教育成果が向上している。	研究	• コア研究領域を中心に国際水準の研究成果が蓄積され、当該領域において高い評価を獲得している。 • 企業との実践的なプロジェクトや共同研究、外部資金獲得による研究が推進され、成果が教育・研究に活用されている。 • 教員の物理的・時間的研究環境の確保と支援体制の充実により、研究の質の向上と業績の蓄積が促進している。
地域連携・貢献	• 新潟地域活性化研究所を中核として、地域企業と連携した共同研究の推進や実践的な教育が行われている。 • 地域企業に対する課題解決提案や経営支援など実践的な取り組みが行われ、地域企業の発展に貢献している。 • 地域企業や住民に対して研修やノンディグリープログラムなどの教育機会や学びの場を提供している。	国際交流・貢献	• 交流協定校ネットワークの対象地域が拡大し、優秀な留学生を迎え入れている。 • 交流協定校を中心とした共同研究や教育面での相互連携の推進など、取り組み内容が拡充している。 • 修了生を含めた交流ネットワークなどを活用したビジネスマッチングなどを通じて、県内企業の発展に寄与している。
学生支援	• 設置科目以外で起業/事業創造のための実践的、多様な学習機会・環境が提供されている。 • 在学中、修了後の起業・インキュベーション支援環境と体制が整備されている。 • 修了後のキャリア形成に向けた支援が強化され、有力企業への就職実績、就職率が向上している。 • 留学生を中心とした奨学金の拡充や住居の確保など充実した生活・学修環境が提供されている。	大学運営	• 建学の精神と理念に基づき、起業家・経営者養成のための大学～大学院(修士・博士課程)に至るまでの教育・研究、大学運営体制が構築されている。 • 研究者教員と実務家教員の役割分担が明確となり、専門性発揮と相互補完により、効果的な運営がなされている。 • アドミッションポリシーに基づく優秀な学生の確保を前提として常に定員を充足し、安定的な財務基盤を確立している。

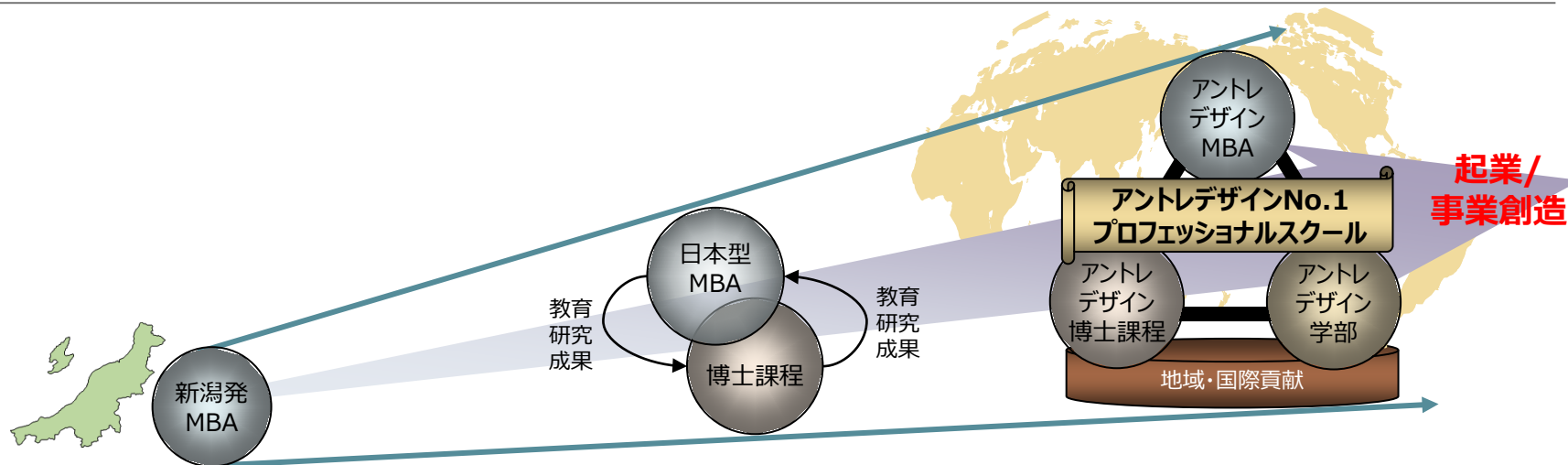
各領域ごとの重点施策①

領域	長期基本方針		重点施策
教育・FD 領域	Ⅰ.独自の教育方法論と教育 の質保証の確立	Ⅰ-1.アントレプレナー育成・能力開発と 時代の変化に対応した教育プロ グラムの構築	(1) 育成すべき人材像と能力に基づくカリキュラムの充実
			(2) 先進IT技術などを活用したフレキシブルで効果的な教育方法の 導入
			(3) 独自の科学的なアントレデザイン教育方法論の確立・実践
		Ⅰ-2.教育の内部質保証を通じた起業 /事業創造、教育成果の向上	(1) 起業/事業創造のための教育の内部質保証を担保する教育 成果の見える化
研究領域	Ⅱ.コア研究領域における国 際レベルの研究の推進	Ⅱ-1.コア研究領域における教員の研 究業績の蓄積	(1) 建学の精神と理念に基づくコア研究領域の明確化と研究の質 向上に向けたPDCAの実践
			(2) 企業との実践的なプロジェクトや共同研究、外部資金獲得に よる研究の推進
			(3) 研究成果に基づくアントレプレナー教育へのフィードバック
		Ⅱ-2.教員の物理的・時間的研究環 境の確保と支援体制の充実	(1) 教員組織の充実と研究に注力できる仕組みの構築
地域連携・ 貢献領域	Ⅲ.地域企業・大学と連携し た実践的教育・研究と貢 献	Ⅲ-1.新潟地域活性化研究所を中核 とした地域企業・大学との連携	(1) 地域企業・大学との共同研究や受託研究の推進、実践的な PBL型教育プログラムの導入
			(2) 大学間連携による起業・新事業の立ち上げの促進
		Ⅲ-2.地域企業に対する課題解決提 案、経営支援の推進	(1) 地域企業に対する経営支援(コンサルティング)機能の強化
			(2) 自治体・金融機関などと連携した地域企業支援スキームの構築
		Ⅲ-3.地域企業や住民に対する教育機 会や学びの場の提供	(1) ハンディグリー社会人教育プログラム、企業研修・セミナーなどの 推進

各領域ごとの重点施策②

領域	長期基本方針		重点施策
国際交流・貢献領域	Ⅳ.国際交流の対象地域拡大と相互連携深化	Ⅳ -1.交流協定校の拡大による優秀な留学生の獲得	(1)欧米先進国を含めた未開拓地域における交流校ネットワークの拡大
		Ⅳ -2.交流協定校を中心とした取り組み内容の拡充	(1) 国際的な研究連携プログラムの構築・推進 (2) 教員相互派遣、単位互換、ダブルディグリーなどの双方向の教育プログラムの検討
		Ⅳ -3.修了生ネットワークなどを活用した国際貢献の推進	(1) 修了生海外経営者ネットワークの構築、連携支援 (2) 地域企業や在学生・修了生に対するビジネスチャンスの提供
学生支援領域	Ⅴ.学生本位の学修環境、キャリア支援体制の整備	Ⅴ -1.起業/事業創造のための実践的な学習機会・環境の提供	(1) ファンドや地域連携を活用した企業・現場での実践的な学びの場の提供 (2) サークル、グループ単位での学外活動の促進支援
		Ⅴ -2.起業・インキュベーション支援環境と体制の整備	(1) 自治体、金融機関、地域企業などと連携した起業支援体制の整備 (2) EIT生などを対象とした起業のためのオフィスや出資・資金調達などの実質的な支援
		Ⅴ -3.修了後のキャリア形成に向けた支援の強化	(1) MBAの知識を活かせる県内外の有力企業への就職率の向上
		Ⅴ -4.県外学生や留学生を対象とした生活・学修環境の提供	(1) 私費学生を対象とした奨学制度・支援の充実 (2) 遠隔地からの入学希望者受入のための住環境の充実
大学運営領域	Ⅵ.経営系大学院大学としての進化とポジション確立	Ⅵ -1.経営系大学院大学としてのフルライン教育体制の構築	(1) 大学院博士課程の設置、経営系専門職大学との連携、一貫体制の構築 (2) 国際的な認証評価取得への挑戦
		Ⅵ -2.アントレプレナー養成に向けた 効果的な教育・研究体制整備	(1) 研究者教員と実務家教員の役割分担の明確化と運用の仕組み作り
		Ⅵ -3. 優秀な学生の確保と安定的な財務基盤確立	(1) 国内外交流協定校の拡大による優秀な学生の確保 (2) 企業の人材育成プランと連動した企業派遣の拡大、自費による日本人学生の確保

将来計画実現に向けたシナリオ <情報デザイン学部開設以前>



領域	長期基本方針	【1stステージ】	2ndステージ】	【3rdステージ】
		3年後の達成イメージ	【6年後の達成イメージ	10年後の目指す姿
教育・FD	I. 独自の教育方法論と教育の質保証の確立	【アントレデザイン教育方法論と評価システムの開発】	【アントレデザイン教育の実践・検証とブラッシュアップ】	【アントレデザイン教育の確立と起業/事業創造成果の拡大】
研究	II. コア研究領域における国際レベルの研究の推進	【コア研究領域における質の高い研究促進の仕組み作り】	【コア研究領域における質の高い研究成果の拡大と教育での活用】	【国際水準の研究成果の蓄積と評価の確立】
地域連携・貢献	III. 地域企業・大学と連携した実践的教育・研究と貢献	【地域企業・大学との取り組み体制構築とノンディグリープログラムの開発】	【地域企業・大学との取り組み成果の評価獲得と活用、ノンディグリープログラムの拡充】	【地域企業・大学との取り組み、教育機会の提供による地域貢献】
国際交流・貢献	IV. 国際交流の対象地域拡大と相互連携深化	【交流協定校の拡大と共同研究の推進、修了生ネットワークの基盤整備】	【交流協定校との取り組みの深化、修了生ネットワーク主体の活動の支援強化】	【交流協定校および修了生ネットワークを活かした国際交流成果・貢献の実現】
学生支援	V. 学生本位の学修環境、キャリア支援体制の整備	【学生の就学環境・キャリア形成支援のインフラの整備】	【学生の学修環境・キャリア形成支援の実践】	【学生の学修環境・キャリア形成の高度化】
大学運営	VI. 経営系大学院大学としての進化とポジション確立	【博士課程設置と系列専門職大学・他大学との連携体制構築】	【学部～修士・博士課程までの教育体制を活かした人材育成、起業/事業創造の成果の創出】	【独自の教育方法論による国際的な評価の確立、起業/事業創造のための多様な学習機会の提供と、盤石な財務体質の確立】

開志創造大学
第1次中期計画骨子（2019年度～2021年度）

2019～2021年度中期目標と6領域の達成イメージ

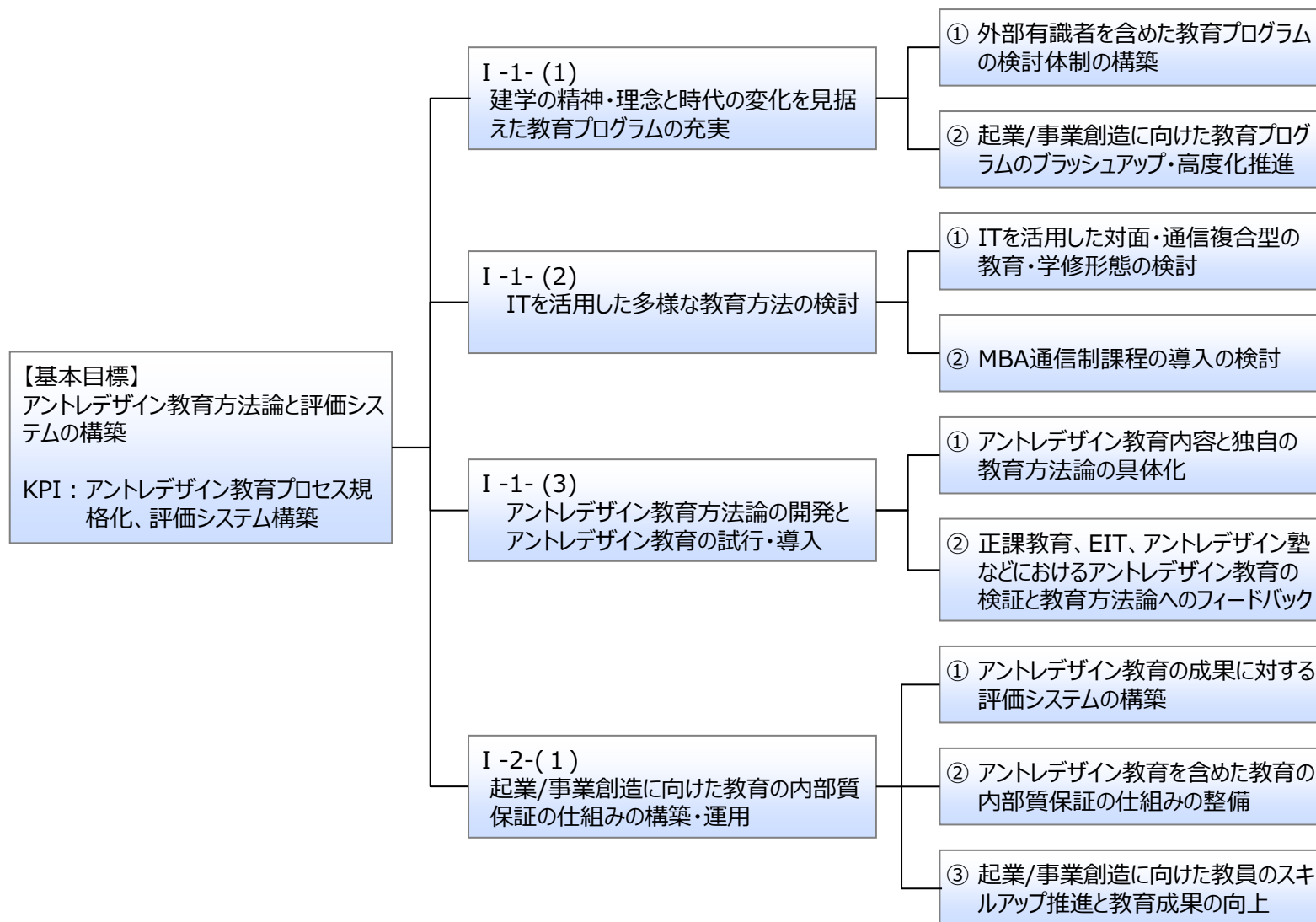
【中期目標】

～アントレデザイン教育と研究高度化に向けた基盤整備～

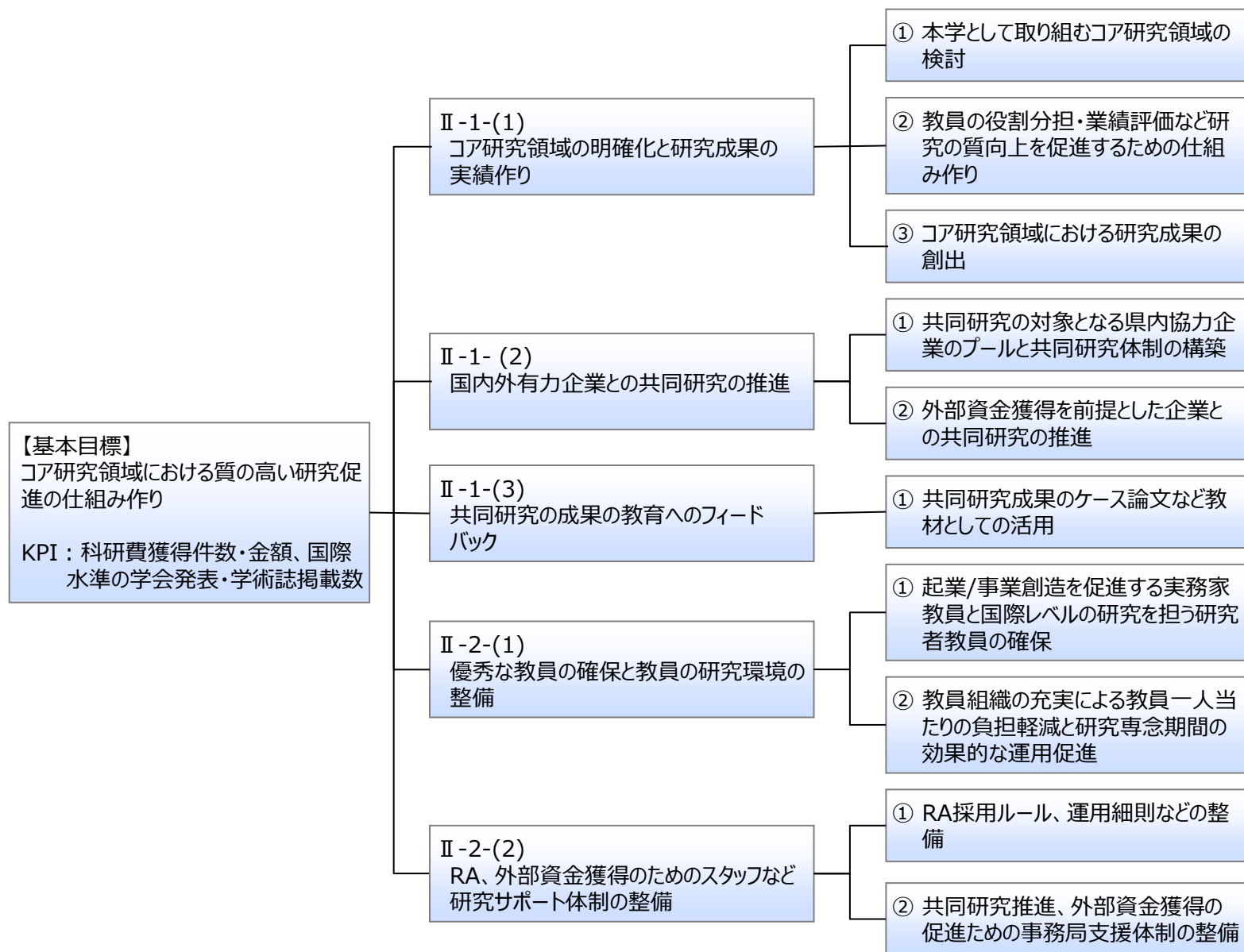
将来計画の第1ステージとして、本学独自のアントレデザイン教育方法論と評価システムを構築し、アントレプレナー養成に向けた教育の実践と内部質保証システムの運用により起業/事業創造を促進するとともに、博士課程の設置や教員の研究環境の充実を図り、質の高い研究成果の創出を推進する。

領域	2021年の達成イメージ	領域	2021年の達成イメージ
教育・FD	【アントレデザイン教育方法論と評価システムの構築】 - 外部有識者からのアドバイスを踏まえ、建学の精神・理念と時代の変化を見据えた教育プログラムの改編が行われている。 - アントレデザイン教育の成果に対する評価システムが整備されている。 - アントレプレナー養成、起業/事業創造のための独自の教育方法論が正課教育、E I T、起業塾等、全学レベルで組織的に運用を開始している。 - 起業/事業創造に向けた教育の内部質保証が構築され、FDなどを通じて実務者教員のスキルアップと教育成果の向上が図られている。	研究	【コア研究領域における質の高い研究促進の仕組み作り】 - コア研究領域が明確となり、教員の業績評価や学術誌のリストなど、研究の質向上を促進するための仕組みが整備されている。 - 教員の研究成果が内外の一流学会誌／学術大会で発表されている。 - 企業との実践的共同研究の成果が教材として利用できるケース論文などの形で教育に直接フィードバックされている。 - 研究専念期間の有効が利用が進展するとともに、企業との共同研究や外部資金獲得を支援するための担当者が設置されている。
地域連携・貢献	【地域企業・大学との取り組み体制構築とノンディグリープログラムの開発】 - 地域企業や他大学との連携により、共同研究が推進され、学生も積極的に参画して成果をプロジェクト報告書としてまとめられている。 - 新潟地域活性化研究所の体制が整備され、地域企業に対する課題解決提案や経営支援など実践的な取り組みが開始されている。 - 地域企業や社会人などを対象としたノンディグリープログラムが開始されている。	国際交流・貢献	【交流協定校の拡大と共同研究の推進、修了生ネットワークの基盤整備】 - 国際交流のネットワークの対象地域が拡大し、交流協定校と留学生出身国が拡大している。 - 交流協定校との連携による共同研究が行われ、成果を学術誌等に発表している。 - 同窓会組織が拡充し、修了生が多い国から海外支部が開設されている。
学生支援	【学生の就学環境・キャリア形成支援のインフラの整備】 - 将来の起業/事業創造や地域活性化に資する学生サークルを大学として積極的に支援し、活発な活動が行われている。 - 本学関連の起業家を中心としたマイクロファンドが設立され、起業時の資金調達支援の実績が出ている。 - 留学生を中心に入学時からのキャリア教育が正課扱いで行われている。 - 学生の精神面、障害を持つ学生への対応ができる体制が整備されている。	大学運営	【博士課程設置と系列専門職大学・他大学との連携体制構築】 - 多様化した院生ニーズに対応してMBAと連携した博士課程が設置されるとともに、系列専門職大学からMBA志向の学生を受け入れる体制が整備されている。 - 教職員組織の質量両面での拡充により、研究者教員と実務家教員の役割分担に基づく運営が試行されている。 - 自費、企業派遣の日本人および留学生の優れた学生が確実に確保されている。 - ノンディグリープログラムから一定の収入が見込まれている。

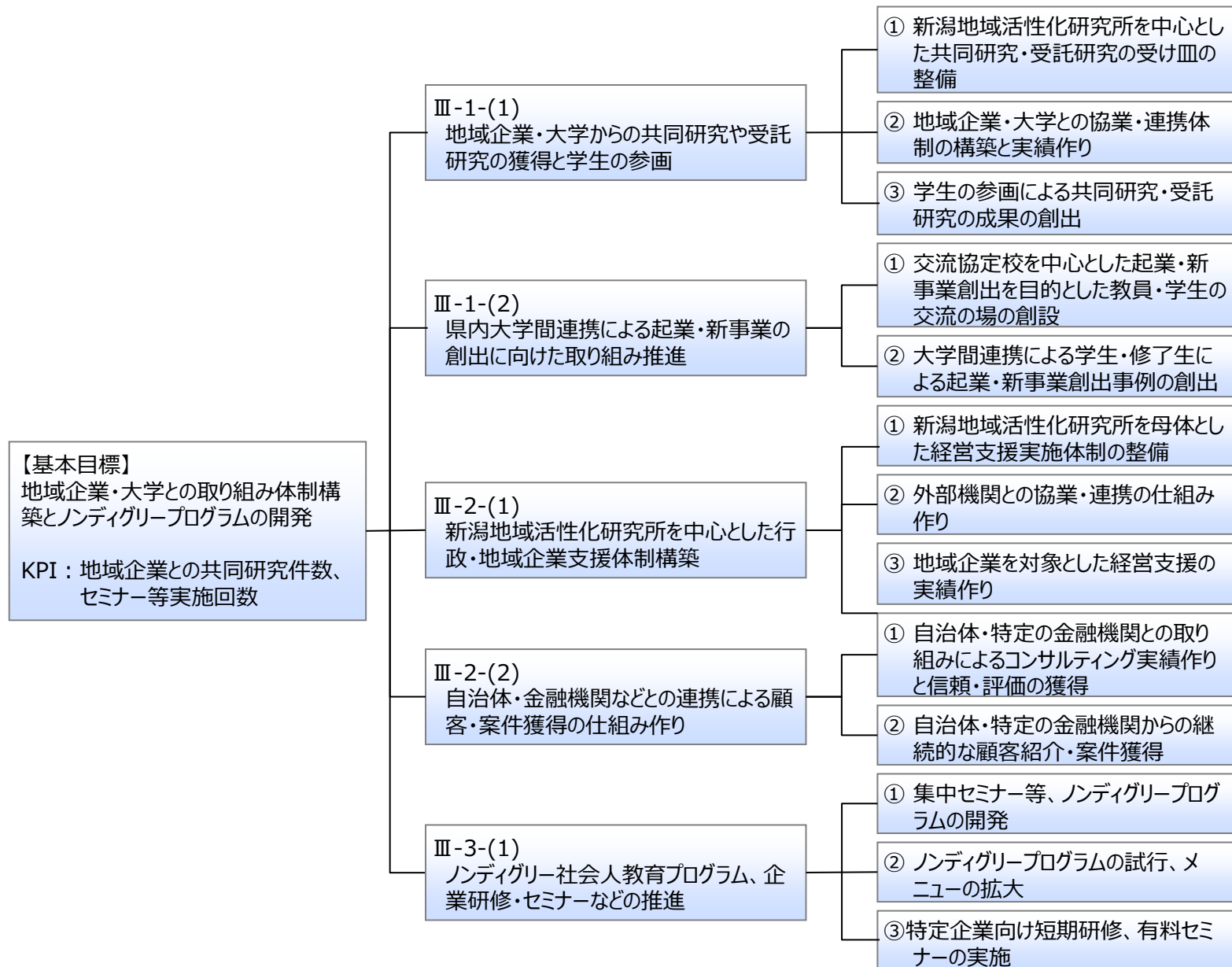
I. 「教育・FD領域」の中期基本方針と重点施策



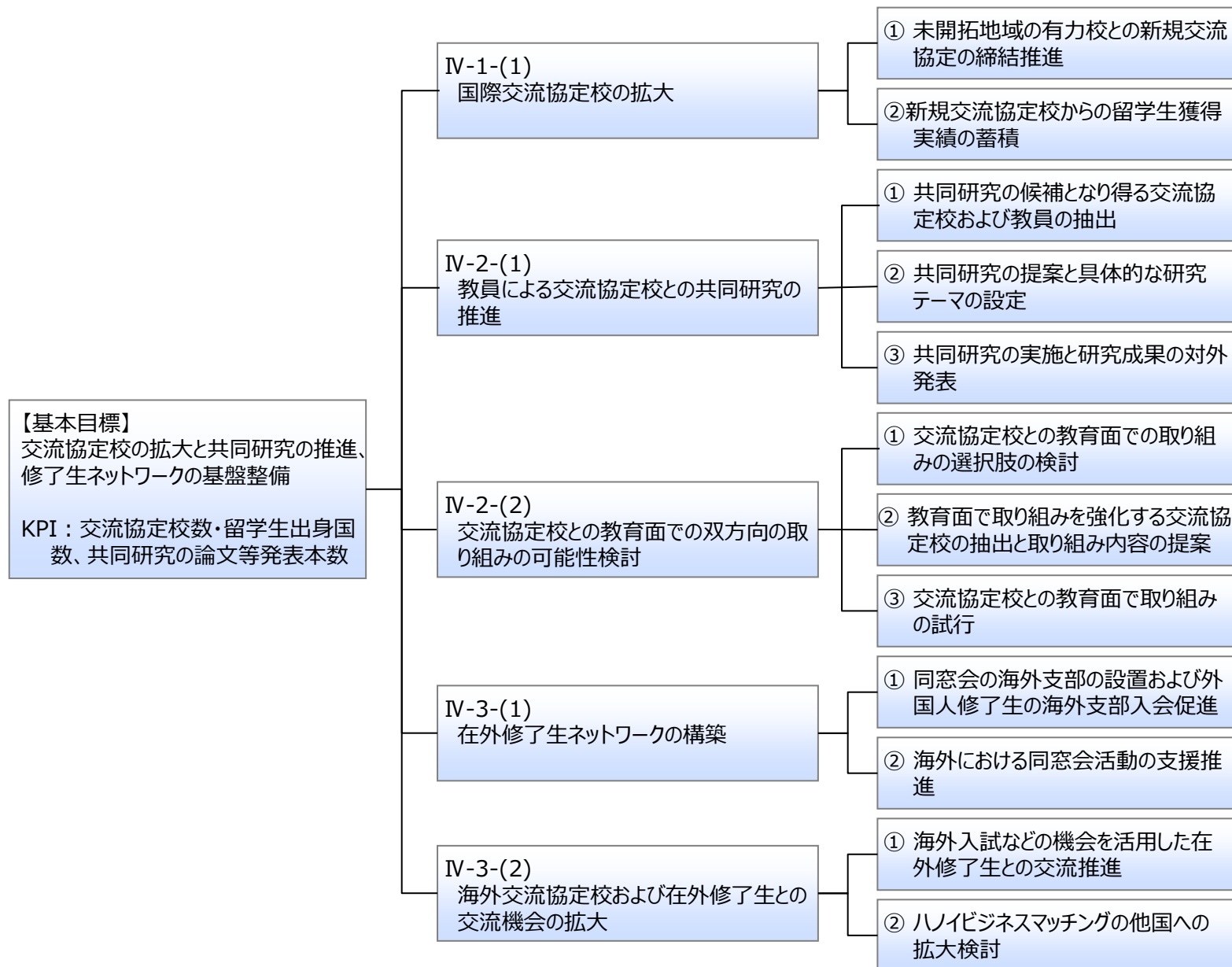
Ⅱ. 「研究領域」の中期基本方針と重点施策



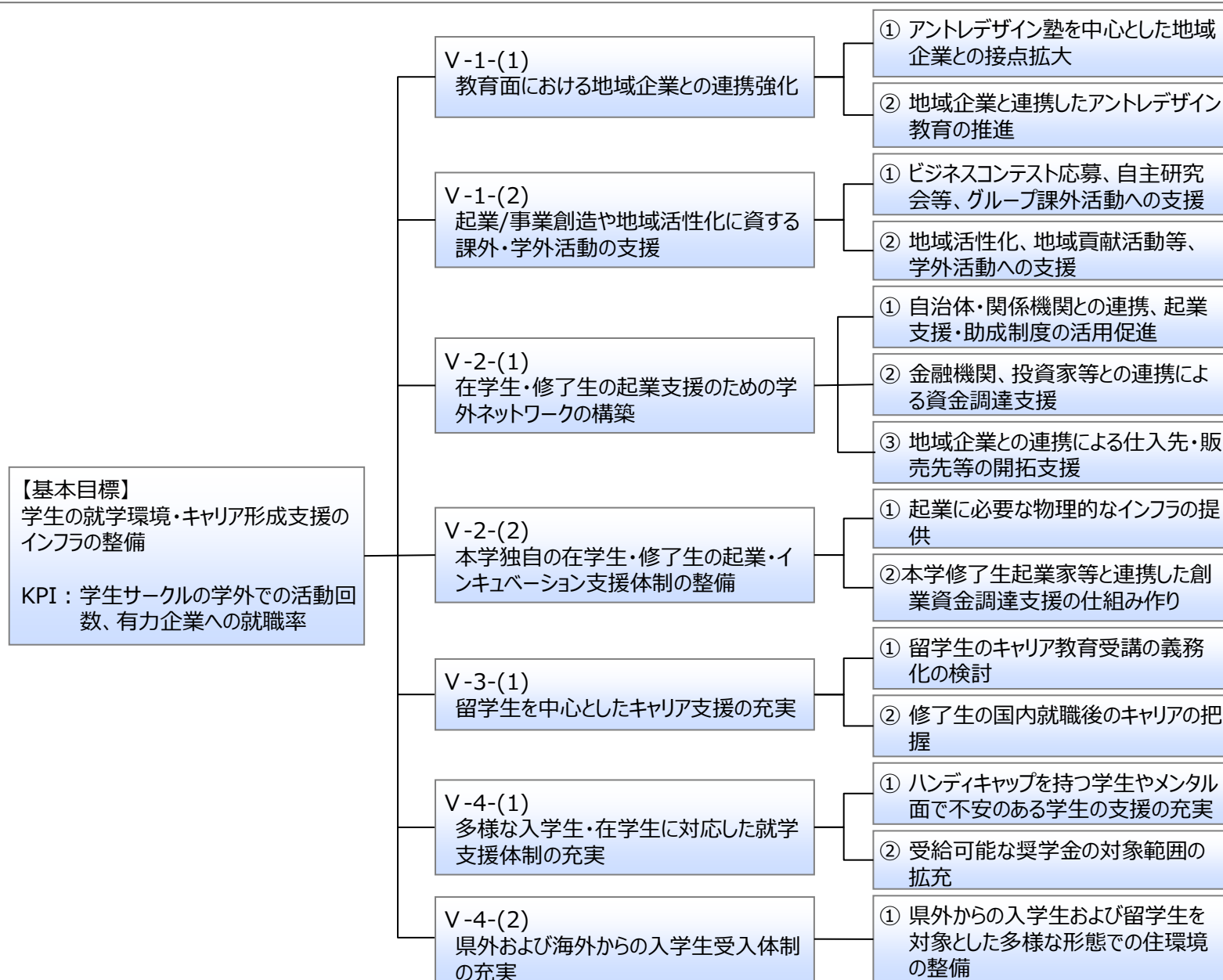
Ⅲ. 「地域連携・貢献領域」の中期基本方針と重点施策



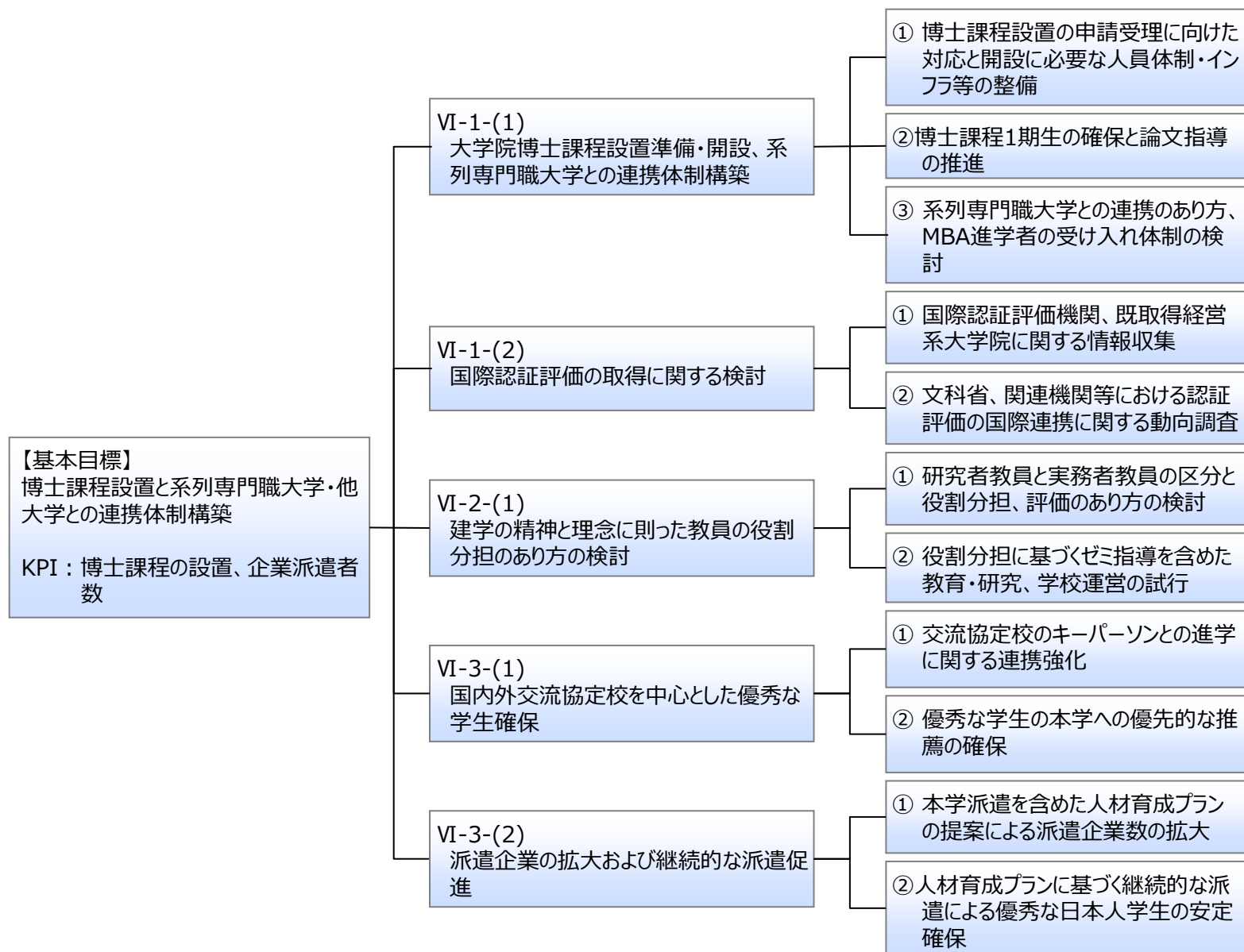
Ⅳ. 「国際交流・貢献領域」の中期基本方針と重点施策



V. 「学生支援領域」の中期基本方針と重点施策

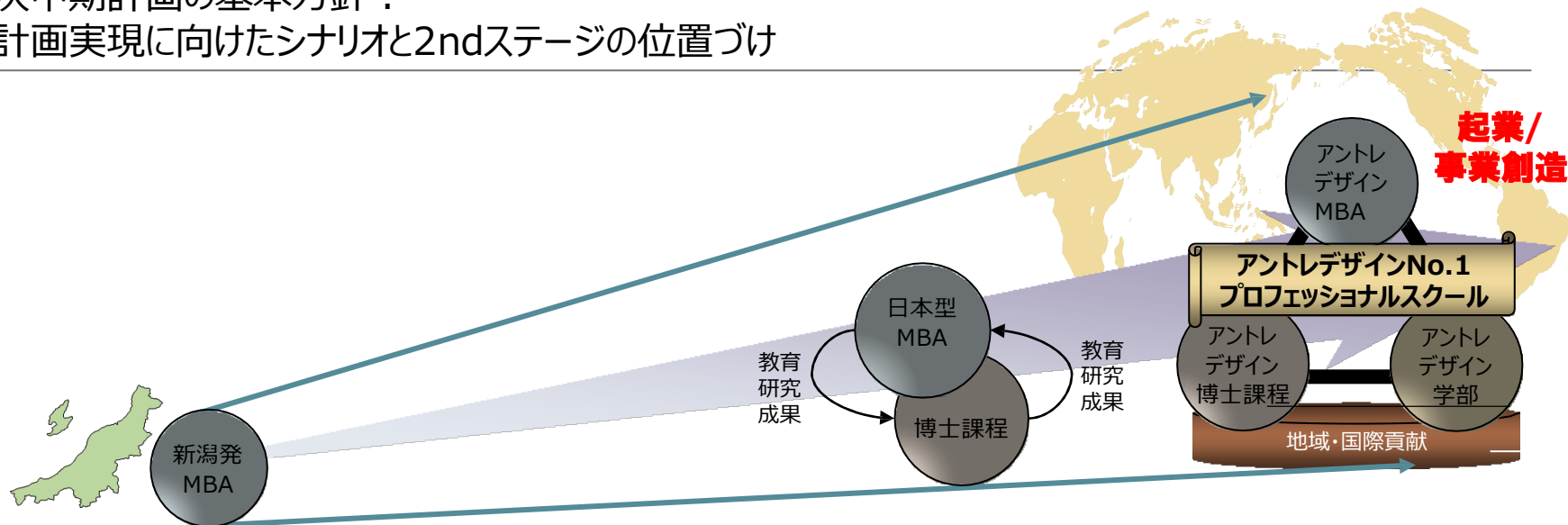


VI. 「大学運営領域」の中期基本方針と重点施策



開志創造大学
第2次中期計画骨子（2022年度～2024年度）

第二次中期計画の基本方針： 将来計画実現に向けたシナリオと2ndステージの位置づけ



領域	長期基本方針	【1stステージ】	【2ndステージ】	【3rdステージ】
		3年後の達成イメージ	【6年後の達成イメージ】	10年後の目指す姿
教育・FD	I. 独自の教育方法論と教育の質保証の確立	【アントレデザイン教育方法論と評価システムの開発】	【アントレデザイン教育の実践・検証とブラッシュアップ】	【アントレデザイン教育の確立と起業/事業創造成果の拡大】
研究	II. コア研究領域における国際レベルの研究の推進	【コア研究領域における質の高い研究促進の仕組み作り】	【コア研究領域における質の高い研究成果の拡大と教育での活用】	【国際水準の研究成果の蓄積と評価の確立】
地域連携・貢献	III. 地域企業・大学と連携した実践的教育・研究と貢献	【地域企業・大学との取り組み体制構築とノンディグリープログラムの開発】	【地域企業・大学との取り組み成果の評価獲得と活用、ノンディグリープログラムの拡充】	【地域企業・大学との取り組み、教育機会の提供による地域貢献】
国際交流・貢献	IV. 国際交流の対象地域拡大と相互連携深化	【交流協定校の拡大と共同研究の推進、修了生ネットワークの基盤整備】	【交流協定校との取り組みの深化、修了生ネットワーク主体の活動の支援強化】	【交流協定校および修了生ネットワークを活かした国際交流成果・貢献の実現】
学生支援	V. 学生本位の学修環境、キャリア支援体制の整備	【学生の就学環境・キャリア形成支援のインフラの整備】	【学生の学修環境・キャリア形成支援の実践】	【学生の学修環境・キャリア形成の高度化】
大学運営	VI. 経営系大学院大学としての進化とポジション確立	【博士課程設置と系列専門職大学・他大学との連携体制構築】	【学部～修士・博士課程のアントレデザイン教育・研究フルライン体制・環境整備と起業/事業創造の成果の創出】	【独自の教育方法論による国際的な評価の確立、起業/事業創造のための多様な学習機会の提供と、盤石な財務体質の確立】

I. 「教育・FD領域」の中期基本方針と重点施策

【中期基本目標】

【中期基本方針】

【重点施策】

【基本目標】
アントレデザイン教育の実践・検証とブラッシュアップ

KPI：アントレデザイン教育方法論の
正課科目への導入

I-1
建学の精神・理念を具現化する教育プログラム
の革新

・コース制、プログラム制導入と本学教育
ポートフォリオの検討

・コース制、プログラム制導入に向けたカリ
キュラム編成と推進体制の整備

I-2
ハイフレックス授業、演習指導方法・質
の高度化

・ハイフレックス授業に関する学生からの
フィードバックの共有化

・FD研修、演習委員会などを通じたハイ
フレックス授業・演習のあり方の検
証・ブラッシュアップ、外部ノウハウ導入

・東京オフィスの効果的な活用

I-3
アントレデザイン教育方法論の実践・検
証

・アントレデザイン研究会における教育
方法論の集約と理論構築、評価に基
づくアントレデザイン塾の強化

・特定の正課科目におけるアントレデザ
インアプローチの組み込み

I-4
起業/事業創造に向けた実践的な教育
の質の向上

・演習指導における研究者教員と実務
家教員の連携推進

・起業/事業創造に向けた新潟地域活
性化研究所というピークルの有効活用

・起業/事業創造、事業承継などの尺
度の明確化、実績把握・評価

Ⅱ. 「研究領域」の中期基本方針と重点施策

【中期基本目標】

【中期基本方針】

【重点施策】

【基本目標】

コア研究領域における質の高い研究成果の拡大と教育での活用

KPI：科研費および外部資金獲得件数・金額、国際水準の学会発表・学術誌掲載数

Ⅱ-1-(1)
コア研究領域の明確化と研究成果の創出

・専門分野×「起業・事業創造」「地域」をベースにコア研究領域分野を明確化、各分野において研究促進

・科研費等、外部資金の獲得の組織的な支援とインセンティブの検討

・教員の対外的な露出度アップによるプレゼンス向上

Ⅱ-1-(2)
国内外での共同研究、共同プロジェクトへの参画

・交流協定校等を中心とした共同研究の推進

・地域企業等との研究プロジェクトの組成・推進

Ⅱ-1-(3)
共同研究、共同プロジェクトの成果の教育・情報発信としての活用

・共同研究・プロジェクトの成果の共有化

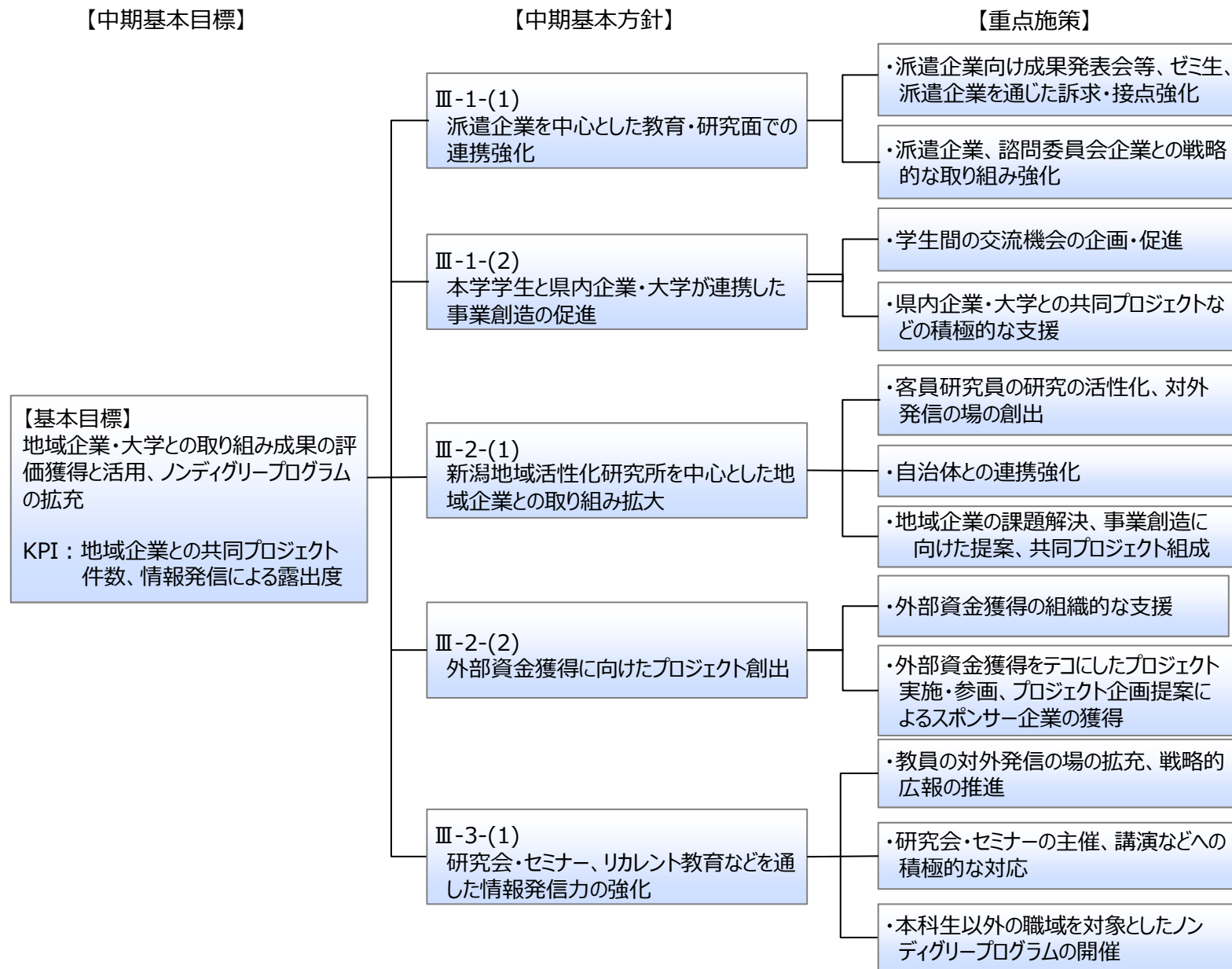
・オリジナル教材開発に対するインセンティブの検討

Ⅱ-2-(1)
教員組織と研究環境・支援体制の拡充

・中長期的な視点からの若手・中堅教員の計画的な採用・配置

・教員サポート体制の構築と研究環境の整備による教員の研究余力、研究・時間の確保

Ⅲ. 「地域連携・貢献領域」の中期基本方針と重点施策



IV. 「国際交流・貢献領域」の中期基本方針と重点施策

【中期基本目標】

【中期基本方針】

【重点施策】

【基本目標】
交流協定校との取り組みの深化、修了生ネットワーク主体の活動の支援強化
KPI：修了生ネットワーク参加者数、
教育・研究面での取り組み数

IV-1-(1)
国際交流協定校との関係性深化、教育・研究面での取り組み拡大

・交流協定校との共同研究、定期的な教員交流などを通じたコミュニケーション強化

・交流協定校への集中講義、オンライン教育プログラム提供など取り組み推進に向けた仕組みの検討

・現地進出企業を対象とした交流協定校との共同プロジェクト提案

IV-2-(1)
未開拓地域における交流協定校獲得

・中南米・東欧・アフリカなどにおける交流協定校開拓

・東アジアへの拡大、米国、欧州などの日本語学科設置校の開拓

・外国人向け海外オンライン履修制度適用の検討

IV-2-(2)
在外修了生の組織化・ネットワーク化

・グローバルな同窓会組織運営体制の検討・整備

・国内外同窓会の組織化と入会、継続的な関係作りのための仕組みづくり

・国内外修了生の追跡調査、データ整備

IV-3-(1)
海外交流校および在外修了生との定期的な交流の場の設定

・定期的な対面・オンライン交流イベントの企画推進

・同窓会支部の自律的な活動支援方法の検討

V. 「学生支援領域」の中期基本方針と重点施策

【中期基本目標】

【中期基本方針】

【重点施策】

【基本目標】
学生の学修環境・キャリア形成支援の
実践

KPI：地域行事などへの参画回数、
○年以内の離職者数

V-1-(1)
地域企業との接点・交流機会の拡大、
地域における課外・学外活動の促進

・オープンキャンパスや主催セミナーなどにおける地域企業のゲスト講師の招聘

・フィールドワーク、PBLなどにおける地域企業との連携・取り組み強化、学生参画のインセンティブの検討

V-1-(2)
起業・事業創造のためのインフラの充実

・起業準備オフィスの機能、実効性の確保

・本学独自ファンドの創設など資金調達
の選択肢の整備

・企業や修了生と連携したテストマーケティングなどの実践的なプラットフォーム、
インフラ整備

V-2-(1)
留学生を中心としたキャリア教育、就職
支援の推進

・留学生求人情報の開拓と求人企業と
連携した説明会の開催、インターシッ
プの位置づけ・運用の明確化

・留学生の勤続状況の追跡調査、デー
タの蓄積、成功事例の訴求

V-2-(2)
社会人学生、留学生に対応した支援の
充実

・正課外の学外活動などに対する教職
員の支援体制の確立

・就学・研究支援資金等の仕組みの構
築

VI. 「大学運営領域」の中期基本方針と重点施策

【中期基本目標】

【中期基本方針】

【重点施策】

【基本目標】

学部～修士・博士課程のアントレデザイン教育・研究フルライン体制・環境整備と起業/事業創造の成果の創出

KPI：博士課程の設置申請・認可、企業派遣者数

VI-1-(1)
大学院博士課程開設に向けた準備の推進

・博士課程設置準備プロジェクトを中心とした本学独自の博士課程のあり方の検討、申請準備

・グループ最適化に向けた設置主体、レイアウト等の調整

VI-1-(2)
系列専門職大学からの学生受け入れと接続の仕組みづくり

・開志専門職大学との位置付け・役割分担の明確化、講義・イベント等を含めた大学在学中の連携強化

・開志専門職大学卒業生受け入れ(系列校など)の制度作り

VI-2-(1)
建学の精神と理念に則った教員の役割分担の実践

・教員の役割分担に基づく授業、演習の運用試行・改善

・教員の役割分担に基づく評価の試行・制度化

VI-3-(1)
オンライン受講制度を活用した国内外からの優秀な学生確保

・オンライン受講制度の運用ルールの明確化と通学・対面メリットの訴求

・県外在住者、日本人・外国人海外在住者の取り込み

VI-3-(2)
継続的な企業派遣確保のための取り組み強化

・企業のコア人材育成プログラムの一貫としての企業派遣制度の提案・啓蒙

・本学修了生の成果の実績、生の声の訴求

・派遣企業との取り組みと派遣条件の組み合わせの検討

開志創造大学
第3次中期計画骨子 進行中（2025年度～2028年度）

建学の精神（使命・目的）、教育研究上の目的（2026年4月より）

3rdステージの取組みと学部および博士後期課程の設置にあたり、以下のとおり、大学の使命目的および教育研究上の目的を確認し、中期計画の実現に取り組む

<建学の精神>

わが国が直面する課題を広く認識するとともに来るべき時代の潮流を把握しつつ創造的な経済・産業活動に取り組む人材を育成する。すなわち自ら起業に取り組むことができる資質、また組織内において新しい事業を創出することができる資質(アントレプレナーシップ)の形成につながる教育を行い、地域を再生する人材を育成することにより、真に活力あるわが国経済の発展に貢献する。本学ではそのために「研究に基づいた実践、実践に基づいた研究」を理念に掲げ、あくまで、起業を実現しかつその事業を発展させるにふさわしい高い能力と識見と専門性を備えた、事業創造実践家の育成を目指す。

<大学全体及び学部(情報デザイン学部)の使命目的>

本学は、教育基本法及び学校教育法を踏まえ、学術の中心として、広く知識を授け、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び
応用的能力を展開させることを通じて文化・社会の発展に寄与するとともに、経済・産業の諸分野において貢献しうる幅広い職業人の育成を目的とする。

<大学院の使命目的>

本大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、文化・社会の発展に寄与するとともに、経済・産業の諸分野において貢献しうる高度職業人の育成を目的とする。

<専門職学位課程の使命目的>

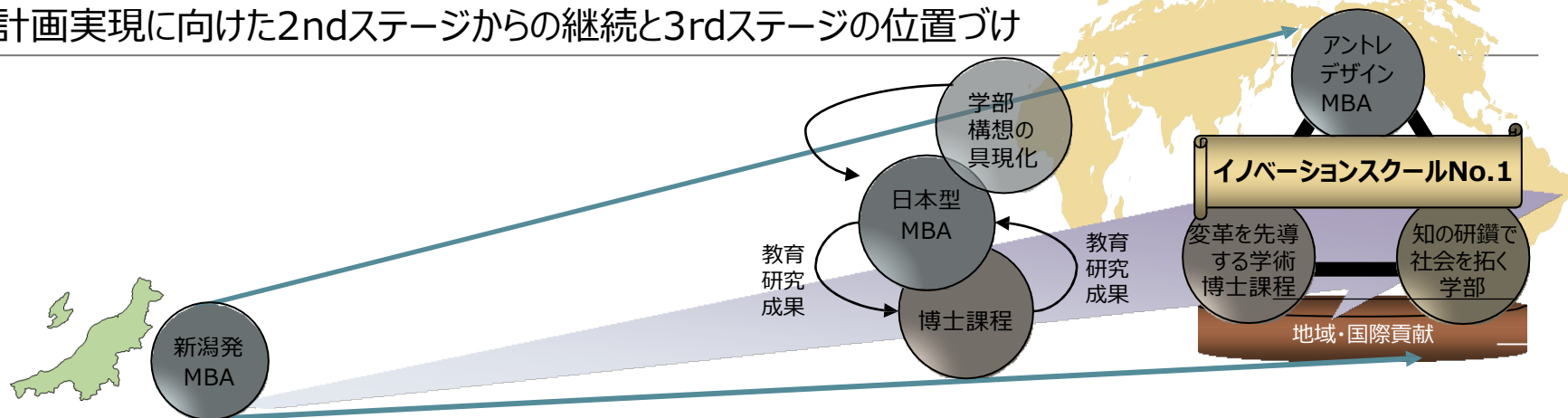
事業創造研究科事業創造専攻は、日本経済、グローバル経済の相互発展に貢献する事業や企業を、独立して、又は組織内で創造し、経営する人材を育成することを目的とする。

<博士後期課程の使命目的>

事業創造研究科経営科学専攻は、ビジネスに関する深い学識を基礎とし、多様化・複雑化し、変化の速度を速める経済社会情勢に柔軟に対応し、自立して研究活動を行い、持続可能なビジネスの在り方を探究することにより、より一層高度な専門的職業人、これを養成する者、実用性・応用性の高い研究活動を行う研究者として地域社会及び国際社会の発展に貢献することができる人材を育成することを目的とする。

第三次中期計画の基本方針：

将来計画実現に向けた2ndステージからの継続と3rdステージの位置づけ



領域	長期基本方針	【1stステージ】	【2ndステージ】	【3rdステージ】
		3年後の達成イメージ	【6年後の達成イメージ】	10年後の目指す姿
教育・FD	I. 独自の教育方法論と教育の質保証の確立	【アントレデザイン教育方法論と評価システムの開発】	【アントレデザイン教育の実践・検証とブラッシュアップ】	【起業/事業創造成果の拡大とテクノロジーの高度化対応とオンライン教育の高度化】
研究	II. コア研究領域における国際レベルの研究の推進	【コア研究領域における質の高い研究促進の仕組み作り】	【コア研究領域における質の高い研究成果の拡大と教育での活用】	【工学系学部設置に伴う国際水準の研究成果の蓄積と評価の確立】 【企業課題起点の「高度な研究方法論＋理論構築」人材輩出】
地域連携・貢献	III. 地域企業・大学と連携した実践的教育・研究と貢献	【地域企業・大学との取り組み体制構築とノンディグリープログラムの開発】	【地域企業・大学との取り組み成果の評価獲得と活用、ノンディグリープログラムの拡充】	【国内外の地域企業・国際大学との取り組み、教育機会の提供による地域貢献】
国際交流・貢献	IV. 国際交流の対象地域拡大と相互連携深化	【交流協定校の拡大と共同研究の推進 修了生ネットワークの基盤整備】	【交流協定校との取り組みの深化、修了生ネットワーク主体の活動の支援強化】	【交流協定校および修了生ネットワークを活かした国際交流成果・貢献の実現】 【通信教育課程学部を生かした国際化】
学生支援	V. 学生本位の学修環境、キャリア支援体制の整備	【学生の就学環境・キャリア形成支援のインフラの整備】	【学生の学修環境・キャリア形成支援の実践】	【オンライン学修環境の高度化による教育DXの確立とキャリア形成の高度化】
大学運営	VI. 経営系大学院大学としての進化とポジション確立	【博士課程設置と系列専門職大学・他大学との連携体制構築】	【学部～修士・博士課程のアントレデザイン教育・研究フルライン体制・環境整備と起業/事業創造の成果の創出】	【起業をベースとした学部～修士～博士のフルライン体制による独自の教育方法論による国際的な評価の確立、起業/事業創造のための多様な学修機会の提供と、盤石な財務 体質の確立】

I. 「教育・FD領域」の中期基本方針と重点施策

【中期基本目標】

【中期基本方針】

【重点施策】

【基本目標】
先進テクノロジーを活用した
教育システムの完成とイノベーション
教育の高度化

I -1
建学の精神・理念を具現化する教育プ
ログラムの革新

・学部卒業生の修士課程へのスム
ーズな進学モデルの検討

・コース制、プログラム制の改善向上に
向けたカリキュラム編成と推進体制の整
備

・オンデマンド・ハイフレックス授業の継続
改善による学生授業満足度の更なる
向上

I -2
オンデマンド・ハイフレックス授業の高度
化とデータドリブン教育への変革

・FD研修によるデータを基盤とした学修
指導とTAと連携した学修サポート体
制の確立

・AIを組み込んだLMS（ラーニング・マ
ネジメント・システム）への進化

I -3
アントレデザイン教育方法論の実践・検
証

・アントレデザイン研究会における教育
方法論の集約と理論構築、評価に基
づくアントレデザイン塾の強化

・特定の正課科目におけるアントレデ
ザインアプローチの組み込み

I -4
起業/事業創造に向けた実践的な教育
の質の向上

・演習指導における研究者教員と実務
家教員の連携推進

・起業/事業創造に向けた新潟地域活
性化研究所というピークルの有効活用

・起業/事業創造、事業承継などの尺
度の明確化、実績把握・評価

Ⅱ. 「研究領域」の中期基本方針と重点施策

【中期基本目標】

【中期基本方針】

【重点施策】

【基本目標】

経営学と工学が融合した研究領域
(例: AIを活用したビジネスモデル創
出、サステナビリティ経営)を特定し、
産学官連携による大型共同プロジェ
クトを推進する
博士課程では企業課題起点の「高度
な研究方法論+理論構築」人材を輩
出する

Ⅱ-1-(1)
コア研究領域の明確化と研究成果の創
出促進

・研究担当副学長を設置し「起業・事
業創造」「地域」をベースに、工学分
野の研究促進を追加

・科研費等、外部資金の獲得促進と
してURAを配置

・教員及び博士学生による積極的な
ジャーナル等適格な媒体への論文投
稿

Ⅱ-1-(2)
国内外での共同研究、共同プロジェクト
への参画

・交流協定校等を中心とした共同研究
の推進

・地域企業等との研究プロジェクトの組
成・推進

Ⅱ-1-(3)
共同研究、共同プロジェクトの成果の教
育・情報発信としての活用

・共同研究・プロジェクトの成果の共有
化

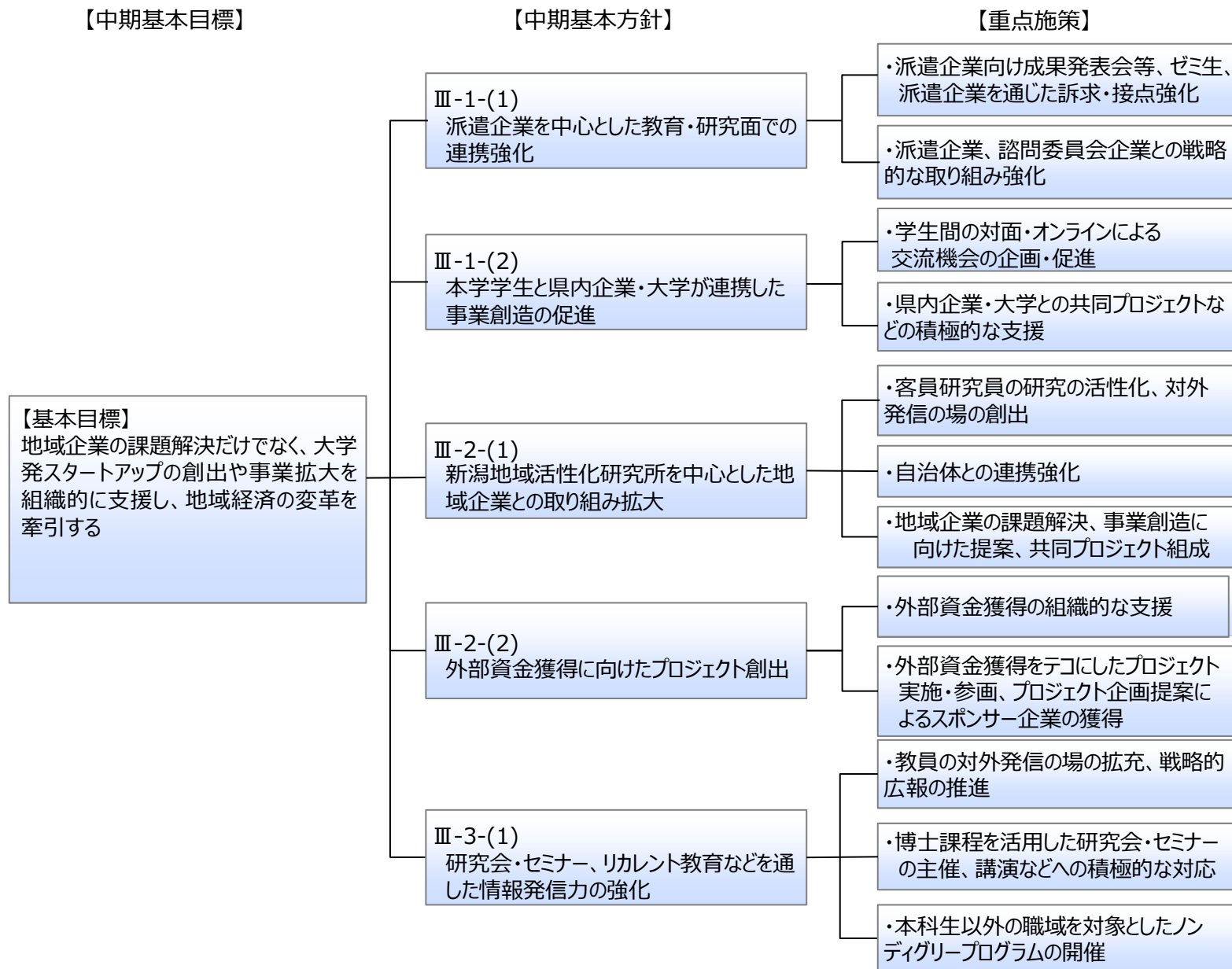
・DXプロジェクトⅠ～Ⅲを活用した企
業連携教材の開発と研究拡充

Ⅱ-2-(1)
教員組織と研究環境・支援体制の拡充

・中長期的な視点からの若手・中堅教
員の計画的な採用・配置

・教員サポート体制の構築と研究環境
の整備による教員の研究余力、研
究・時間の確保

Ⅲ. 「地域連携・貢献領域」の中期基本方針と重点施策



IV. 「国際交流・貢献領域」の中期基本方針と重点施策

【中期基本目標】

【中期基本方針】

【重点施策】

【基本目標】
修了生ネットワークを最大限に活用し、
国際共同研究や海外での教育プログラム展開を加速させる

IV-1-(1)
国際交流協定校との関係性深化、教育・研究面での取り組み拡大

・交流協定校との共同研究、定期的な
教員交流などを通じたコミュニケーション強化

・交流協定校への集中講義、オンライン
教育プログラム提供など取り組み推進
に向けた仕組みの検討

・現地進出企業を対象とした交流協定
校との共同プロジェクト提案

IV-2-(1)
未開拓地域における交流協定校獲得

・中南米・東欧・アフリカなどにおける交
流協定校開拓

・東アジアへの拡大、米国、欧州などの
日本語学科設置校の開拓

・外国人向け海外オンライン履修制度
適用の検討

IV-2-(2)
在外修了生の組織化・ネットワーク化

・グローバルな同窓会組織運営体制へ
の移行と体制整備

・国内外同窓会の組織化と入会、継続
的な関係作りのための仕組みづくり

・国内外修了生の追跡調査、データ整
備

IV-3-(1)
海外交流校および在外修了生との定期的な交流の場の設定

・定期的な対面・オンライン交流イベント
の企画推進

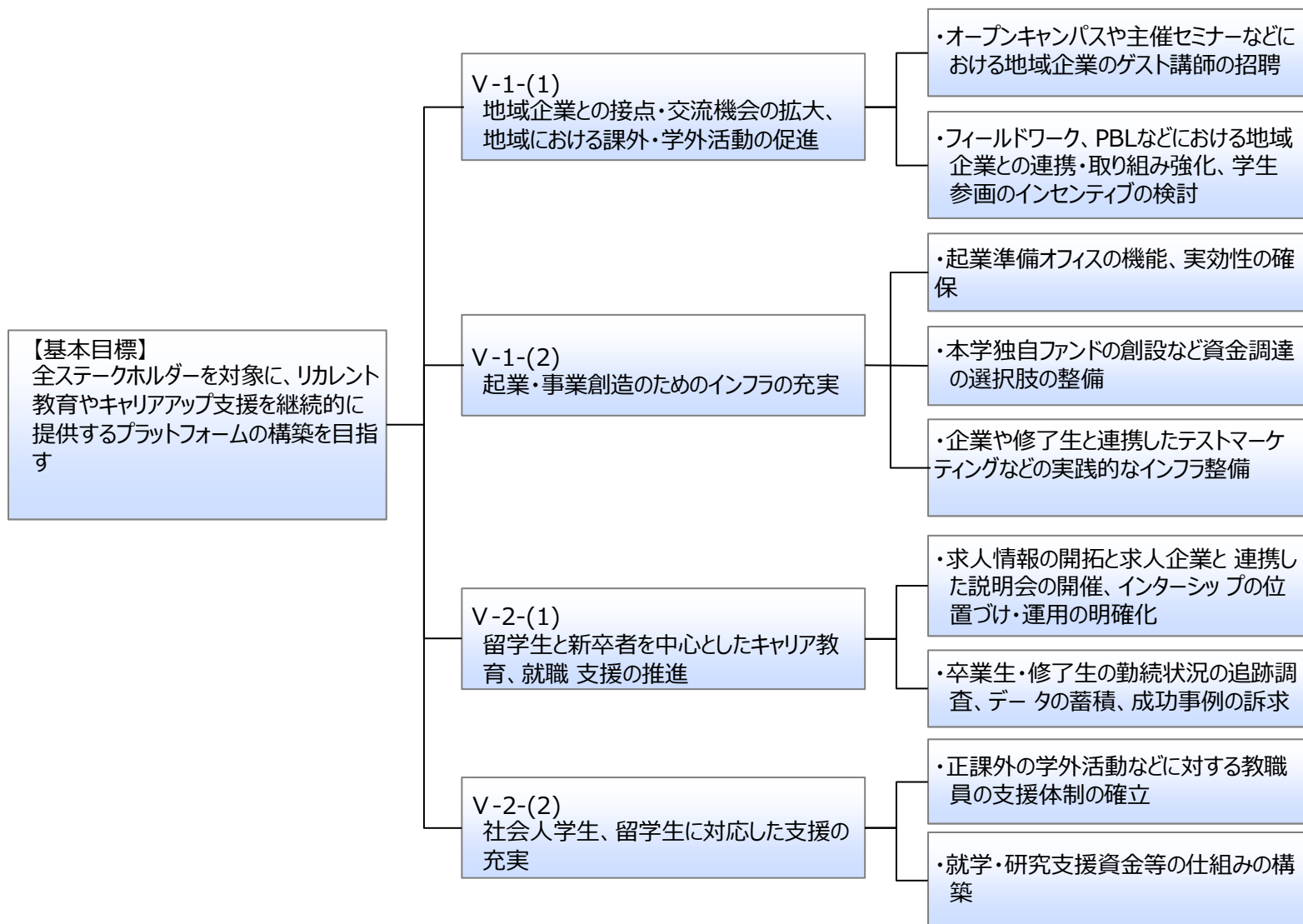
・同窓会支部の構築と自律活動に
向けた体制構築と支援方法の検討

V. 「学生支援領域」の中期基本方針と重点施策

【中期基本目標】

【中期基本方針】

【重点施策】



VI. 「大学運営領域」の中期基本方針と重点施策

【中期基本目標】

【中期基本方針】

【重点施策】

【基本目標】

学部～修士・博士課程のアントレデザイン教育・研究フルライン体制・環境整備と起業/事業創造の成果の創出

VI-1-(1)
大学院博士課程の解説と学生獲得スキームの確立

・博士課程設置準備プロジェクトを中心とした本学独自の博士課程のあり方の検討、申請準備

・グループ最適化に向けた設置主体、レイアウト等の整備

VI-1-(2)
系列専門職大学からの学生受け入れと接続の仕組みづくり

・開志専門職大学との位置付け・役割分担の明確化、講義・イベント等を含めた大学在学中の連携強化

VI-2-(1)
建学の精神と理念に則った教員の役割分担の実践

・教員の役割分担に基づく授業、演習の運用試行・改善

・教員の役割分担の明確化と評価制度の見直し

VI-3-(1)
オンライン受講制度を活用した国内外からの優秀な学生確保

・オンライン受講制度の運用ルールの明確化と通学・対面メリットの訴求

・海外交流提携校の拡大とカントリーリスクの分散

VI-3-(2)
継続的な企業派遣確保のための取り組み強化

・科目履修制度の活用による入学ハードルの軽減

・企業別修了生実績の見える化による、教育成果のアウトプット

・本学教員による企業内研修の積極実施